

JR東海、リニア営業線のトンネル初貫通 掘削から1年7カ月、山梨県富士川町で

2023/10/13 14:51

ツイート

反応

f

B!

🔗

🖨

経済 | 産業・ビジネス ライフ | 暮らし 政治 | 地方自治 地方 | 中部 静岡 山梨 **リニア**



リニア営業本線でのトンネル貫通を祝い、万歳する工事関係者 = 13日、山梨県富士川町（平尾孝撮影）

JR東海は13日、山梨県富士川町でリニア中央新幹線の「第1南巨摩トンネル」の貫通式典を開いた。令和9年の開業を目指すリニア新幹線で、今回が営業本線のトンネルとしては初の貫通となった。

式典で掘削用重機がトンネル最先端部を貫くと、壁面上部に約1メートルの穴が開いた。そこから外光が差し込むと、関係者から拍手や歓声が上がった。工事事務所の渡辺隆所長は「地質のもろい区間もあったが、施工者や協力会社が技術を発揮したことで、無事貫通できた」と喜んだ。



重機でトンネル最先端部を砕き、穴が開くと外光が差し込み、貫通した

同トンネルは全長約710メートル、幅約13メートル、高さ約8メートルで、4年3月から掘削を進め、約1年7カ月で貫通した。

東京・品川－名古屋間の総延長約286キロを最短路約40分で結ぶリニア新幹線の山梨県内路線は、全長が83.4キロ。このうちすでに実験線が42.8キロ設置され、現在は約40キロの工事を進めている。

山梨県内では、今回貫通した第1南巨摩トンネル以外にも第4南巨摩トンネル、南アルプストンネルが工事に入っている。さらに今年5月には、富士川町で営業本線初の高架橋が完成したほか、釜無川を渡るための橋脚の建設なども進んでいる。

リニア新幹線は静岡県の川勝平太知事が、同県内での工事着工を認めていないことから、当初の令和9年の品川－名古屋間の全線開業は事実上不可能な状況となっている。しかし、JR東海は山梨県内の工区については、従来の計画に沿って用地買収や工事を進め、9年の開業に向けたペースを維持する方針だ。